

産業廃棄物収集運搬業実績報告書（平成28年度）

（特別管理産業廃棄物を除く）

29 年 5 月 13 日

東京都知事 殿

【報告者】

住所 東京都国立市谷保6300番地

氏名 株式会社 リスト
代表取締役 遠藤 重雄

電話番号 042-572-1300
（法人にあつては名称及び代表者の氏名）



運搬実績 ①東京都内(八王子市除く) ⇒ 東京都内(八王子市除く) ②東京都内(八王子市除く) ⇒ 他道府県又は八王子市 ③他道府県又は八王子市 ⇒ 東京都内(八王子市除く)	ある なし	許可番号	13 - 00 - 017058
担当者氏名	三田 和広	担当者電話番号	042-571-0010

産業廃棄物の収集運搬受託量

※自社運搬(排出者と運搬受託者が自社の場合)は、集計から除いてください。

コード	種類	数量 [t/年]		コード	種類	数量 [t/年]	
		※小数点以下6桁まで記載				※小数点以下6桁まで記載	
		t				t	
0100	燃え殻	0	000000	1200	ばいじん	0	000000
0200	汚泥	7	4135000	1300	紙くず	3	59134000
0300	廃油	9	0490000	1400	木くず	2	30531000
0400	廃酸	0	935000	1500	繊維くず	2	101000
0500	廃アルカリ	0	112000	1600	動植物性残さ	0	360000
0600	廃プラスチック類	1	318741000	1700	動物系固形不要物	0	000000
0700	ゴムくず	0	000000	1800	動物のふん尿	0	000000
0800	金属くず	1	38973000	1900	動物の死体	0	000000
0900	ガラス・コンクリート・陶磁器くず	1	05181000	2000	産業廃棄物を処分するために処理したもの (例 焼却灰の溶融固形化物等)	0	000000
1000	鉱さい	0	000000	5000	石綿含有産業廃棄物	0	000000
1100	がれき類 (建設廃材のコンクリートを含む)	0	000000	合 計		2	320693000

注1: がれき類などに該当するものであっても、石綿を含有する場合は「5000 石綿含有産業廃棄物」に分類してください。

注2: 「m」「kg」は、「t」に換算し記入してください。

この様式(第1号様式 その2)は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

事業者名	株式会社 リスト	許可番号	13-00-017058
------	----------	------	--------------

産業廃棄物の種類	汚泥
コード	0200

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式(その1)の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式(その1)の0100から5000までのうちから1つを記入してください。

※注1: 都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2)

(運搬先別内訳 ※注2)

※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都(八王子市を除く)分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。
(平成27年4月より、八王子市が中核市となったのに伴う。)その他は、都道府県単位で記入してください。

[A] 収集運搬受託量
(委託を受け運搬したもの) ※注1

「m ³ 」「kg」は「t」に換算
t
7.4 135000

都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量	
	「m ³ 」「kg」は「t」に換算	t
東京都 (八王子市を除く) ※注2	5.8	575000
八王子市 ※注2	1.5	550000
埼玉県		
千葉県		
神奈川県		
茨城県		
栃木県		
群馬県		
合計	7.4	135000

運搬先の 都道府県 又は 八王子市	中間処理業者へ運搬したもの		最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
	具体的な処分方法を記入(例:脱水、焼却、破碎など)		埋立	海洋投入		
	(焼却)	()				
注: 「m ³ 」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。						
東京都 (八王子市を除く) ※注2	7.4	135000				
八王子市 ※注2						
埼玉県						
千葉県						
神奈川県						
茨城県						
栃木県						
群馬県						
合計	7.4	135000				

第1号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記して下さい

[B] 自社運搬 ※注1
(排出者と運搬者が自社)

t
0.000000

運搬量合計
[A]+[B]

t
7.4 135000

※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】 東京都へ申請している車両について

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	22.85 t
--------	-----	-------------	---------

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「:」で計算されているか確認してください。

【記載例】 2tトラック・・・5台 5tトラック・・・2台 塵芥車(2t用)・・・2台 の場合

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t
--------	-----	-------------	------

この様式(第1号様式 その2)は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

事業者名	株式会社 リスト	許可番号	13-00-017058
------	----------	------	--------------

産業廃棄物の種類	廃油
コード	0300

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式(その1)の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式(その1)の0100から5000までのうちから1つを記入してください。

※注1: 都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2)

(運搬先別内訳 ※注2)

※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都(八王子市を除く)分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。
(平成27年4月より、八王子市が中核市となったのに伴う。)その他は、都道府県単位で記入してください。

[A] 収集運搬受託量
(委託を受け運搬したもの) ※注1

「m」「kg」は「t」に換算
t
9 0 490000

都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量	
	「m」「kg」は「t」に換算	t
東京都 (八王子市を除く) ※注2	8 7	271000
八王子市 ※注2	3	219000
埼玉県		
千葉県		
神奈川県		
茨城県		
栃木県		
群馬県		
合計	9 0	490000

運搬先の 都道府県 又は 八王子市	中間処理業者へ運搬したもの		最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
	具体的な処分方法を記入(例: 脱水、焼却、破砕など)		埋立	海洋投入		
	「m」「kg」は「t」に換算	t				
東京都 (八王子市を除く) ※注2	9 0	490000				
八王子市 ※注2						
埼玉県						
千葉県						
神奈川県						
茨城県						
栃木県						
群馬県						
合計	9 0	490000				

第1号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記して下さい

[B] 自社運搬 ※注1
(排出者と運搬者が自社)

t
0 000000

運搬量合計
[A]-[B]

t
9 0 490000

※注3: 自社の積替保管施設で荷物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】 東京都へ申請している車両について

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	22.85 t
--------	-----	-------------	---------

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

【記載例】 2tトラック・・・5台 6tトラック・・・2台 塵芥車(2t用)・・・2台 の場合

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t
--------	-----	-------------	------

この様式(第1号様式 その2)は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

事業者名	株式会社 リスト	許可番号	13-00-017058
------	----------	------	--------------

産業廃棄物の種類	廃酸
コード	0400

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式(その1)の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式(その1)の0100から5000までのうちから1つを記入してください。

※注1: 都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2)

(運搬先別内訳 ※注2)

※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都(八王子市を除く)分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。

(平成27年4月より、八王子市が中核市となったのに伴う。)その他は、都道府県単位で記入してください。

[A] 収集運搬受託量
(委託を受け運搬したもの) ※注1

「m」「kg」は「t」に換算
t
0 935000

都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量
	「m」「kg」は「t」に換算
	t
東京都 (八王子市を除く) ※注2	0 785000
八王子市 ※注2	0 150000
埼玉県	
千葉県	
神奈川県	
茨城県	
栃木県	
群馬県	
合計	0 935000

第1号様式(その1)の
該当種類の数量概へ
転記して下さい

[B] 自社運搬 ※注1
(排出者と運搬者が自社)

t
0 000000

運搬量合計
[A]+[B]

t
0 935000

運搬先の 都道府県 又は 八王子市	中間処理業者へ運搬したもの				最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
	具体的な処分方法を記入(例:脱水、焼却、破砕など) () () () ()				埋立	海洋投入		
	注: 「m」「kg」「t」は、「t」に換算し数字を記入してください。							
	t	t	t	t	t	t	t	t
東京都 (八王子市を除く) ※注2	0 935000							
八王子市 ※注2								
埼玉県								
千葉県								
神奈川県								
茨城県								
栃木県								
群馬県								
合計	0 935000							

※注3: 自社の積替保管施設で有機物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】 東京都へ申請している車両について

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	22.85 t
--------	-----	-------------	---------

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

【記載例】 2tトラック・・・5台 5tトラック・・・2台 燃芥車(2t用)・・・2台 の場合

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t
--------	-----	-------------	------

この様式(第1号様式 その2)は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

事業者名	株式会社 リスト	許可番号	13-00-017058
------	----------	------	--------------

産業廃棄物の種類	廃アルカリ
コード	0500

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式(その1)の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式(その1)の0100から5000までのうちから1つを記入してください。

※注1: 都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2)

(運搬先別内訳 ※注2)

※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都(八王子市を除く)分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。
(平成27年4月より、八王子市が中核市となったのに伴う。)その他は、都道府県単位で記入してください。

[A] 収集運搬受託量
(委託を受け運搬したものを)
※注1

「m」「kg」は「t」に換算
t
0 112000

都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量
	「m」「kg」は「t」に換算
	t
東京都 (八王子市を除く) ※注2	0 054000
八王子市 ※注2	0 058000
埼玉県	
千葉県	
神奈川県	
茨城県	
栃木県	
群馬県	
合計	0 112000

運搬先の 都道府県 又は 八王子市	中間処理業者へ運搬したもの			最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
	具体的な処分方法を記入(例:脱水、焼却、破碎など)			埋立	海洋投入		
	注: 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。						
	t	m	kg	t	t	t	t
東京都 (八王子市を除く) ※注2	0 112000						
八王子市 ※注2							
埼玉県							
千葉県							
神奈川県							
茨城県							
栃木県							
群馬県							
合計	0 112000						

第1号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記して下さい

[B] 自社運搬 ※注1
(排出者と運搬者が自社)

t
0 000000

運搬量合計
[A]+[B]

t
0 112000

※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】 東京都へ申請している車両について

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	22.85 t
--------	-----	-------------	---------

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

【記載例】

2tトラック・・・5台	5tトラック・・・2台	塵芥車(2t用)・・・2台	の場合
車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t

この様式(第1号様式 その2)は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

事業者名	株式会社 リスト	許可番号	13-00-017058
------	----------	------	--------------

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類
コード	0600

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式(その1)の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式(その1)の0100から5000までのうちから1つを記入してください。

※注1: 都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。
(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2)

※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都(八王子市を除く)分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。
(平成27年4月より、八王子市が中核市となったのに伴う。)その他は、都道府県単位で記入してください。

[A] 収集運搬受託量
(委託を受け運搬したものを)
※注1

「m」「kg」は「t」に換算

t	
1318741000	

都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量	
	「m」「kg」は「t」に換算	t
東京都 (八王子市を除く) ※注2	11166963000	
八王子市 ※注2	151778000	
埼玉県		
千葉県		
神奈川県		
茨城県		
栃木県		
群馬県		
合計	1318741000	

(運搬先別内訳 ※注2)

運搬先の 都道府県 又は 八王子市	中間処理業者へ運搬したもの		最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
	具体的な処分方法を記入(例:脱水、焼却、破砕など)		埋立	海洋投入		
	「m」「kg」は「t」に換算	t				
東京都 (八王子市を除く) ※注2	1318741000					
八王子市 ※注2						
埼玉県						
千葉県						
神奈川県						
茨城県						
栃木県						
群馬県						
合計	1318741000					

[B] 自社運搬 ※注1
(排出者と運搬者が自社)

t	
000000	

運搬量合計
[A]+[B]

t	
1318741000	

※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】 東京都へ申請している車両について

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	22.85 t
--------	-----	-------------	---------

【記載例】 2tトラック・・・5台 5tトラック・・・2台 廃芥車(2t用)・・・2台 の場合

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t
--------	-----	-------------	------

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

この様式(第1号様式 その2)は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

事業者名	株式会社 リスト	許可番号	13-00-017058
------	----------	------	--------------

産業廃棄物の種類	金属くず
コード	0800

⇒「産業廃棄物の種類」は第1号様式(その1)の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式(その1)の0100から5000までのうちから1つを記入してください。

※注1: 都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2)

(運搬先別内訳 ※注2)

※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都(八王子市を除く)分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。
(平成27年4月より、八王子市が中核市となったのに伴う。)その他は、都道府県単位で記入してください。

[A] 収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの) ※注1 「m」「kg」は「t」に換算	都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量 「m」「kg」は「t」に換算	中間処理業者へ運搬したもの		最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
			具体的な処分方法を記入(例:脱水、焼却、破碎など)		埋立	海洋投入		
			() () ()	() () ()				
38 973000	東京都 (八王子市を除く) ※注2	130 042000	38 973000					
	八王子市 ※注2	6 931000						
	埼玉県							
	千葉県							
	神奈川県							
	茨城県							
	栃木県							
	群馬県							
運搬量合計 [A]+[B]	合計	138 973000	38 973000					

※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】 東京都へ申請している車両について

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	22.85 t
--------	-----	-------------	---------

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

【記載例】 2tトラック・・・5台 5tトラック・・・2台 塵芥車(2t用)・・・2台 の場合

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t
--------	-----	-------------	------

この様式(第1号様式 その2)は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

事業者名	株式会社 リスト	許可番号	1.3-00-017058
------	----------	------	---------------

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
コード	0900

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式(その1)の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式(その1)の0100から5000までのうちから1つを記入してください。

※注1: 都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2)

(運搬先別内訳 ※注2)

※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都(八王子市を除く)分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。
(平成27年4月より、八王子市が中核市となったのに伴う。)その他は、都道府県単位で記入してください。

[A] 収集運搬受託量
(委託を受け運搬したものを)
※注1

「m」「kg」は「t」に換算
t
0.5 181000

都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量	
	「m」「kg」は「t」に換算	t
東京都 (八王子市を除く) ※注2	0.5	181000
八王子市 ※注2	4	740000
埼玉県		
千葉県		
神奈川県		
茨城県		
栃木県		
群馬県		
合計	1.0.5	181000

運搬先の 都道府県 又は 八王子市	中間処理業者へ運搬したもの		最終処分業者へ運搬したもの			積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
	具体的な処分方法を記入(例:脱水、焼却、破碎など)		埋立	海洋投入	t		
	(焼却)	()					
東京都 (八王子市を除く) ※注2	0.5	181000					
八王子市 ※注2							
埼玉県							
千葉県							
神奈川県							
茨城県							
栃木県							
群馬県							
合計	1.0.5	181000					

第1号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記して下さい

[B] 自社運搬 ※注1
(計出者と運搬者が自社)

t
0 000000

運搬量合計
[A]+[B]

t
0.5 181000

※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】 東京都へ申請している車両について

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	22.85 t
--------	-----	-------------	---------

【記載例】 2tトラック・・・5台 5tトラック・・・2台 塵芥車(2t用)・・・2台 の場合

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t
--------	-----	-------------	------

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

この様式(第1号様式 その2)は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

事業者名	株式会社 リスト	許可番号	13-00-017058
------	----------	------	--------------

産業廃棄物の種類	紙くず
コード	1300

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式(その1)の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式(その1)の0100から5000までのうちから1つを記入してください。

※注1: 都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2)

(運搬先別内訳 ※注2)

※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都(八王子市を除く)分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。

(平成27年4月より、八王子市が中核市となったのに伴う。)その他は、都道府県単位で記入してください。

【A】収集運搬受託量
(委託を受け運搬したもの) ※注1

「m」「kg」は「t」に換算

t	
3,59	134000

都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量	
	「m」「kg」は「t」に換算	「t」
東京都 (八王子市を除く) ※注2	3,36	369000
八王子市 ※注2	2,2	765000
埼玉県		
千葉県		
神奈川県		
茨城県		
栃木県		
群馬県		
合計	3,59	134000

第1号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記して下さい

【B】自社運搬 ※注1
(排出者と運搬者が自社)

t	
0	000000

運搬量合計
【A】+【B】

t	
3,59	134000

運搬先の 都道府県 又は 八王子市	中間処理業者へ運搬したもの		最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
	具体的な処分方法を記入(例:脱水、焼却、破碎など) 焼却) () ()		埋立	海洋投入		
東京都 (八王子市を除く) ※注2	3,59	134000				
八王子市 ※注2						
埼玉県						
千葉県						
神奈川県						
茨城県						
栃木県						
群馬県						
合計	3,59	134000				

※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】 東京都へ申請している車両について

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	22.85 t
--------	-----	-------------	---------

【記載例】 2tトラック・・・5台 5tトラック・・・2台 塵芥車(2t用)・・・2台 の場合

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	21 t
--------	-----	-------------	------

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

この様式(第1号様式 その2)は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

事業者名	株式会社 リスト	許可番号	13 - 00 - 017058
------	----------	------	------------------

産業廃棄物の種類	不くず
コード	1400

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式(その1)の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式(その1)の0100から5000までのうちから1つを記入してください。

※注1: 都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2)

(運搬先別内訳 ※注2)

※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都(八王子市を除く)分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。
(平成27年4月より、八王子市が中核市となったのに伴う。)その他は、都道府県単位で記入してください。

【A】収集運搬受託量
(委託を受け運搬したもの) ※注1

「m」「kg」は「t」に換算

t	
2	3
0	531000

【A】

都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量	
	「m」「kg」は「t」に換算	t
東京都 (八王子市を除く) ※注2	1	92183000
八王子市 ※注2	3	8348000
埼玉県		
千葉県		
神奈川県		
茨城県		
栃木県		
群馬県		
合計	2	30531000

【A】

【B】自社運搬 ※注1
(排出者と運搬者が自社)

t	
0	000000

運搬量合計
【A】+【B】

t	
2	3
0	531000

運搬先の 都道府県 又は 八王子市	中間処理業者へ運搬したもの		最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
	具体的な処分方法を記入(例:脱水、焼却、破碎など)		埋立	海洋投入		
	(焼却)	()				
東京都 (八王子市を除く) ※注2	2	3	0	531000		
八王子市 ※注2						
埼玉県						
千葉県						
神奈川県						
茨城県						
栃木県						
群馬県						
合計	2	3	0	531000		

※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】 東京都へ申請している車両について

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	22.85 t
--------	-----	-------------	---------

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

【記載例】 2tトラック・・・5台 5tトラック・・・2台 履帯車(2t用)・・・2台 の場合

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t
--------	-----	-------------	------

この様式(第1号様式 その2)は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

事業者名	株式会社 リスト	許可番号	13-00-017058
------	----------	------	--------------

産業廃棄物の種類	繊維くず
コード	1500

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式(その1)の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式(その1)の0100から5000までのうちから1つを記入してください。

※注1: 都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2)

(運搬先別内訳 ※注2)

※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都(八王子市を除く)分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。
(平成27年4月より、八王子市が中核市となったのに伴う。)その他は、都道府県単位で記入してください。

[A] 収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの) ※注1	
「m」「kg」は「t」に換算	
t	
2	101000

第1号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記して下さい

[B] 自社運搬 ※注1 (排出者と運搬者が自社)	
t	
0	000000

運搬量合計 [A]+[B]	
t	
2	101000

都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量	
	「m」「kg」は「t」に換算	t
東京都 (八王子市を除く) ※注2	1	427000
八王子市 ※注2	0	674000
埼玉県		
千葉県		
神奈川県		
茨城県		
栃木県		
群馬県		
合計	2	101000

運搬先の 都道府県 又は 八王子市	中間処理業者へ運搬したもの				最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
	具体的な処分方法を記入(例:脱水、焼却、破碎など)				埋立	海洋投入		
	注: 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。							
東京都 (八王子市を除く) ※注2	2	101000						
八王子市 ※注2								
埼玉県								
千葉県								
神奈川県								
茨城県								
栃木県								
群馬県								
合計	2	101000						

※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】 東京都へ申請している車両について

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	22.85 t
--------	-----	-------------	---------

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

【記載例】 2tトラック・・・5台 5tトラック・・・2台 塵芥車(2t用)・・・2台 の場合

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t
--------	-----	-------------	------

この様式(第1号様式 その2)は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

事業者名	株式会社 リスト	許可番号	13-00-017058
------	----------	------	--------------

産業廃棄物の種類	動植物性残さ
コード	1800

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式(その1)の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式(その1)の0100から5000までのうちから1つを記入してください。

※注1: 都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2)

(運搬先別内訳 ※注2)

※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都(八王子市を除く)分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。

(平成27年4月より、八王子市が中核市となったのに伴う。)その他は、都道府県単位で記入してください。

[A] 収集運搬受託量
(委託を受け運搬したもの) ※注1

「m」「kg」は「t」に換算

t	
0	360000

都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量	
	「m」「kg」は「t」に換算	
	t	
東京都 (八王子市を除く) ※注2		
八王子市 ※注2		0 360000
埼玉県		
千葉県		
神奈川県		
茨城県		
栃木県		
群馬県		
合計		0 360000

運搬先の 都道府県 又は 八王子市	中間処理業者へ運搬したもの		最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
	具体的な処分方法を記入(例:脱水、焼却、破砕など)		埋立	海洋投入		
	() () ()					
	注: 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。					
	t	t	t	t	t	t
東京都 (八王子市を除く) ※注2	0 360000					
八王子市 ※注2						
埼玉県						
千葉県						
神奈川県						
茨城県						
栃木県						
群馬県						
合計	0 360000					

第1号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記して下さい

[B] 自社運搬 ※注1
(排出者と運搬者が自社)

t	
0	000000

運搬量合計
[A]+[B]

t	
0	360000

※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】 東京都へ申請している車両について

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	22.85 t
--------	-----	-------------	---------

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

【記載例】 2tトラック・・・6台 5tトラック・・・2台 廃芥車(2t用)・・・2台 の場合

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t
--------	-----	-------------	------

特別管理産業廃棄物収集運搬業実績報告書 (平成28年度)

29 年 5 月 13 日

東京都知事 殿

【報告者】

住所 東京都国立市谷保6300番地

氏名 株式会社 リスト
代表取締役 遠藤 重雄

(法人にあっては名称及び代表者の氏名)

電話番号 042-572-1300



運搬実績 ①東京都内(八王子市除く) ⇒ 東京都内(八王子市除く) ②東京都内(八王子市除く) ⇒ 他道府県又は八王子市 ③他道府県又は八王子市 ⇒ 東京都内(八王子市除く)	ある <input checked="" type="radio"/> なし <input type="radio"/>	許可番号	13 - 56 -	017058
		担当者氏名	三田 和広	担当者電話番号

特別管理産業廃棄物の収集運搬受託量

※自社運搬(排出者と運搬受託者が自社の場合は、集計から除いてください。)

コード	種類	数量 [t/年]		コード	種類	数量 [t/年]	
		※小数点以下6桁まで記載				※小数点以下6桁まで記載	
		t				t	
0350	廃油 (6003を除く)	2	798000	6001	燃え殻 (有害)	0	000000
0450	廃酸 (6004を除く)	0	050000	6002	汚泥 (有害)	0	000000
0550	廃アルカリ (6005を除く)	0	029000	6003	廃油 (有害)	0	000000
2150	感染性産業廃棄物	2	4380000	6004	廃酸 (有害)	0	000000
2251	廃ポリ塩化ビフェニル	0	000000	6005	廃アルカリ (有害)	0	000000
2252	ポリ塩化ビフェニル汚染物	0	000000	6006	鉍さい (有害)	0	000000
2253	ポリ塩化ビフェニル処理物	0	000000	6007	ばいじん (有害)	0	000000
2350	廃石綿等	0	000000	6008	廃水銀等 (有害)	0	000000
合 計						2	46577000

注: 「m³」「kg」は、「t」に換算し記入してください。

この様式(第2号様式 その2)は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

事業者名	株式会社 リスト	許可番号	13... 56 - 017058
------	----------	------	-------------------

産業廃棄物の種類	廃油
コード	0350

⇒「廃棄物の種類」は第2号様式(その1)の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第2号様式(その1)の0350から6008までのうちから1つを記入してください。

※注1: 都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2)

※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都(八王子市を除く)分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。

(平成27年4月より、八王子市が中核市となったのに伴う。)その他は、都道府県単位で記入してください。

[A] 収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの) ※注1
「m」「kg」は「t」に換算
t
2:798000

都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量	
	「m」「kg」は「t」に換算	t
東京都 (八王子市を除く) ※注2	1	688000
八王子市 ※注2	1	110000
埼玉県		
千葉県		
神奈川県		
茨城県		
栃木県		
群馬県		
合計	2	798000

(運搬先別内訳 ※注2)

運搬先の 都道府県 又は 八王子市	中間処理業者へ運搬したもの		最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
	具体的な処分方法を記入(例:脱水、焼却、破碎など)		埋立	海洋投棄		
	(焼却) () ()	() () ()				
注: 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。						
東京都 (八王子市を除く) ※注2	2	798000				
八王子市 ※注2						
埼玉県						
千葉県						
神奈川県						
茨城県						
栃木県						
群馬県						
合計	2	798000				

第2号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記して下さい

[B] 自社運搬 ※注1 (排出者と運搬者が自社)
t
0:000000

運搬量合計 [A]+[B]
t
2:798000

※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】 東京都へ申請している車両について

【記載例】 2tトラック・・・5台 5tトラック・・・2台 塵芥車(2t用)・・・2台 の場合

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	22.85 t
--------	-----	-------------	---------

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t
--------	-----	-------------	------

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

この様式(第2号様式 その2)は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

事業者名	株式会社 リスト	許可番号	13-56-017058
------	----------	------	--------------

産業廃棄物の種類	廃酸
コード	0450

⇒「廃棄物の種類」は第2号様式(その1)の種類のうちから1つを記入してください。
⇒「コード」は第2号様式(その1)の0350から6008までのうちから1つを記入してください。

※注1: 都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2)

(運搬先別内訳 ※注2)

※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都(八王子市を除く)分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。
(平成27年4月より、八王子市が中核市となったのに伴う。)その他は、都道府県単位で記入してください。

[A] 収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの) ※注1	都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量	中間処理業者へ運搬したもの				最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
			具体的な処分方法を記入(例: 脱水、焼却、破砕など)				埋立	海洋投入		
「m」「kg」は「t」に換算		「m」「kg」は「t」に換算	注: 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。							
t		t	t	t	t	t	t	t	t	
0 050000	東京都 (八王子市を除く) ※注2	0 045000	東京都 (八王子市を除く) ※注2	0 050000						
	八王子市 ※注2	0 005000	八王子市 ※注2							
	埼玉県		埼玉県							
	千葉県		千葉県							
	神奈川県		神奈川県							
	茨城県		茨城県							
	栃木県		栃木県							
	群馬県		群馬県							
	合計	0 050000	合計	0 050000						

第2号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記して下さい

[B] 自社運搬 ※注1 (排出者と運搬者が自社)	t
	0 000000

運搬量合計 [A]+[B]	t
	0 050000

※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】 東京都へ申請している車両について

【記載例】 2tトラック・・・5台 5tトラック・・・2台 塵芥車(2t用)・・・2台 の場合

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	22.85 t
--------	-----	-------------	---------

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t
--------	-----	-------------	------

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

この様式(第2号様式 その2)は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

事業者名	株式会社 リスト	許可番号	13-56-017058
------	----------	------	--------------

産業廃棄物の種類	廃アルカリ
コード	0550

⇒「廃棄物の種類」は第2号様式(その1)の種類のうちから1つを記入してください。
⇒「コード」は第2号様式(その1)の0350から600Bまでのうちから1つを記入してください。

※注1: 都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2) (運搬先別内訳 ※注2)

※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都(八王子市を除く)分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。
(平成27年4月より、八王子市が中核市となったのに伴う。)その他は、都道府県単位で記入してください。

[A] 収集運搬受託量
(委託を受け運搬したもの) ※注1

「m」「kg」は「t」に換算
t
0 029000

第2号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記して下さい

[B] 自社運搬 ※注1
(非出者と運搬者が自社)

t
0 000000

運搬量合計
[A]-[B]

t
0 029000

都道府県 又は 八王子市	発生地別の 収集運搬 受託量	
	「m」「kg」は「t」に換算	t
東京都 (八王子市を除く) ※注2	0 029000	0 029000
八王子市 ※注2	0 011000	0 011000
埼玉県		
千葉県		
神奈川県		
茨城県		
栃木県		
群馬県		
合計	0 029000	0 029000

運搬先の 都道府県 又は 八王子市	中間処理業者へ運搬したもの		最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
	具体的な処分方法を記入(例:脱水、焼却、破砕など) () () ()	埋立	海洋投入			
東京都 (八王子市を除く) ※注2	0 029000					
八王子市 ※注2						
埼玉県						
千葉県						
神奈川県						
茨城県						
栃木県						
群馬県						
合計	0 029000					

注: 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。

※注3: 自社の積替保管施設で荷物の抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】 東京都へ申請している車両について

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	22.85 t
--------	-----	-------------	---------

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し行で計算されているか確認してください。

【記載例】 2tトラック・・・5台 5tトラック・・・2台 廃芥草(2ヶ月)・・・2台 の場合

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t
--------	-----	-------------	------

この様式(第2号様式 その2)は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
 収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

事業者名	株式会社 リスト	許可番号	13-56-017358
------	----------	------	--------------

産業廃棄物の種類	感染性産業廃棄物
コード	2150

⇒「廃棄物の種類」は第2号様式(その1)の種類のうちから1つを記入してください。
 ⇒「コード」は第2号様式(その1)の0350から6008までのうちから1つを記入してください。

※注1: 都内で積み込み又は積み卸したものが対象です。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2)

※注2: 収集運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都(八王子市を除く)分と八王子市分をそれぞれ分けて記入してください。

(平成27年4月より、八王子市が中核市となったのに伴う。)その他は、都道府県単位で記入してください。

(運搬先別内訳 ※注2)

[A] 収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの) ※注1	発生地別の 収集運搬 受託量	中間処理業者へ運搬したもの		最終処分業者へ運搬したもの		積替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
		具体的な処分方法を記入(例:脱水、焼却、破碎など)		埋立	海洋投入		
		() () ()	() () ()				
「m」「kg」は「t」に換算 t	「m」「kg」は「t」に換算 t	注: 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。					
東京都(八王子市を除く) ※注2 2 4 3 800000	東京都(八王子市を除く) ※注2 2 2 5 820000	東京都(八王子市を除く) ※注2 2 4 3 800000					
八王子市 ※注2 1 7 980000	八王子市 ※注2 1 7 980000	八王子市 ※注2					
埼玉県		埼玉県					
千葉県		千葉県					
神奈川県		神奈川県					
茨城県		茨城県					
栃木県		栃木県					
群馬県		群馬県					
合計	2 4 3 800000	合計	2 4 3 800000				

※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】 東京都へ申請している車両について

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	22.85 t
--------	-----	-------------	---------

【記載例】 2tトラック・・・6台 5tトラック・・・2台 塵芥車(2t用)・・・2台 の場合

車両の総台数	9 台	車両の最大積載量の総和	24 t
--------	-----	-------------	------

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。